



福島県の港湾 Ports of Fukushima

はじめに

広大で緑豊かな県土を有し、首都圏隣接という立地条件である福島県は、東北No.1の製造品出荷額を有し新規の工場立地件数は全国トップクラスとなっております。

また、福島県を生産地・消費地とするコンテナ貨物の発生量も東北で第1位であり県内外への物流の拠点としても期待が寄せられているところであります。

福島県では「新しい時代にふさわしい創造的で活力ある産業が展開する“ふくしま”」の実現にむけて県内産業の振興や、物流の基盤となる港湾の整備をすすめております。

CONTENTS

はじめに	
21世紀の新しい生活圏「美しいふくしま」の創造をめざして…	2
福島県の位置	3
小名浜港	4
相馬港	8
中之作港	12
江名港	13
久之浜港	14
翁島港	15
湖南港	15
巻末資料	16

福島県は全国第3位の面積を有し、県土の7割を占める森林、猪苗代湖等の湖沼群、多くの温泉や景勝地、磐梯朝日国立公園をはじめとする多くの自然公園など、豊かな自然や美しい景観に恵まれています。

また、東京から概ね200km圏に位置するという地理的優位性が、新幹線や高速道路などの交通体系の整備によって一層高まっています。

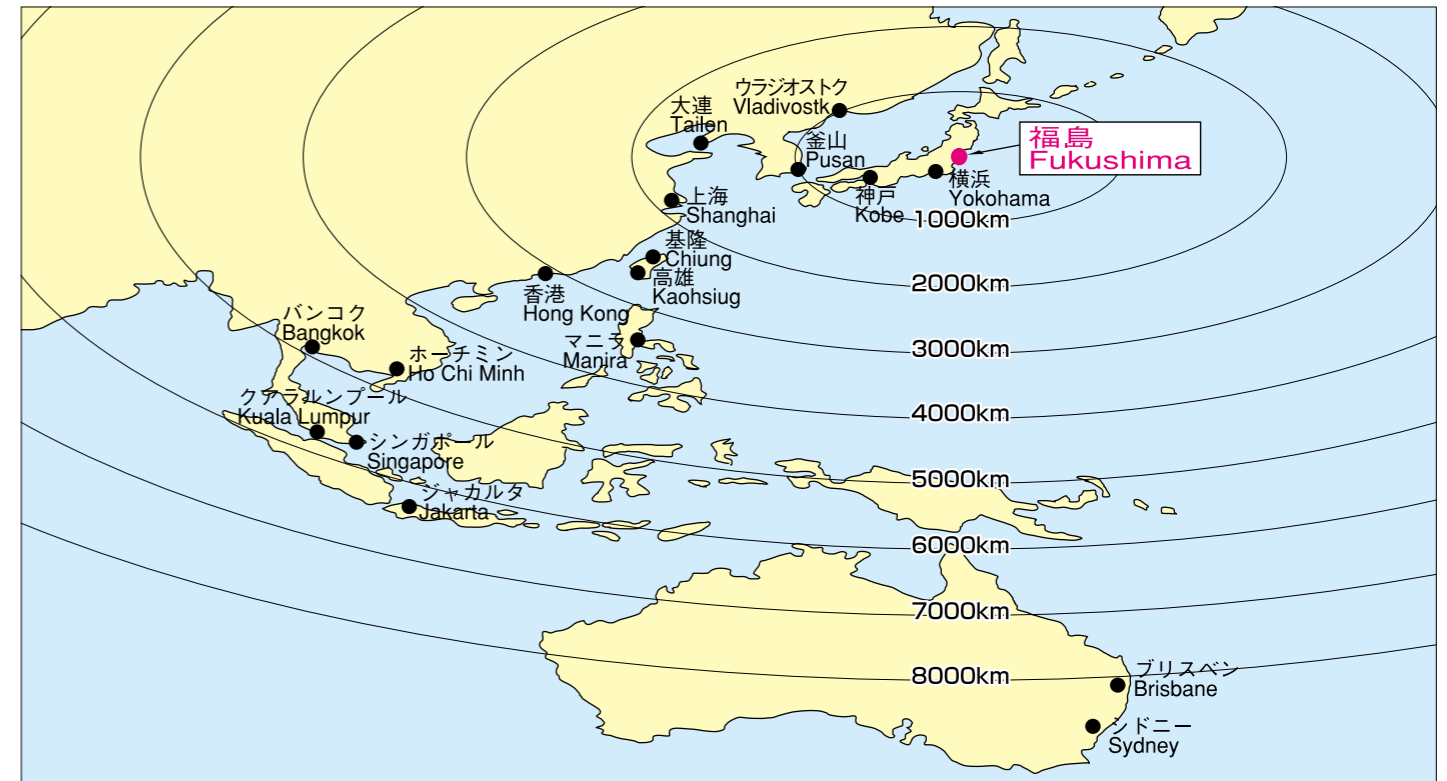
福島県には、重要港湾2港、地方港湾5港の7つの港湾があり、広域的な物流拠点として、また、地域産業の核として、重要な役割を果たしています。

これらの港湾については、ふくしまと世界を結ぶグローバルネットワークの形成や、新しい国土軸の一翼を担う県土づくりなど「21世紀の新しい生活圏の創造」に貢献する、21世紀に向けた港づくりを進めます。

21世紀の新しい生活圏 「美しいふくしま」の創造をめざして



福島県の位置



港湾の位置



小名浜港の各ふ頭



1号ふ頭
いわき・ら・ら・ミュウ
いわき市観光物流センター（いわき・ら・ら・ミュウ）があり、交流ゾーンとして観光客等にぎわいを見せています。



2号ふ頭
アクアマリンふくしま
ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）があり、1号ふ頭と併せ、交流ゾーンとなっておりますが自動車等の貨物も取り扱われています。背後のアクアマリンパークは光あふれる海の公園として整備されています。



3号ふ頭
石灰等の鉱産品や、セメント等の化学工業品を中心としたふ頭です。



4号ふ頭
濃硫酸や苛性ソーダ等の化学工業品が扱われています。ふ頭先端部では、危険物のタンク等が集約されています。



5・6号ふ頭
平成16年3月に全面供用開始した新しいふ頭です。石灰、銅精鉱、亜鉛鉱等の鉱産品を取扱います。緊急災害時の緊急物資の受入施設として、耐震強化岸壁1バースを備えています。



7号ふ頭
大型の岸壁を有し、石灰等の鉱産品を中心に扱うふ頭です。



藤原ふ頭
木材を中心に扱うふ頭となっています。背後は物流関連ゾーンとして整備しています。



大剣ふ頭
外貨、内貨コンテナ貨物を中心に、金属機械工業品等を扱います。

コンテナ関連物流ゾーン

● 藤原ふ頭・大剣ふ頭



● 東港



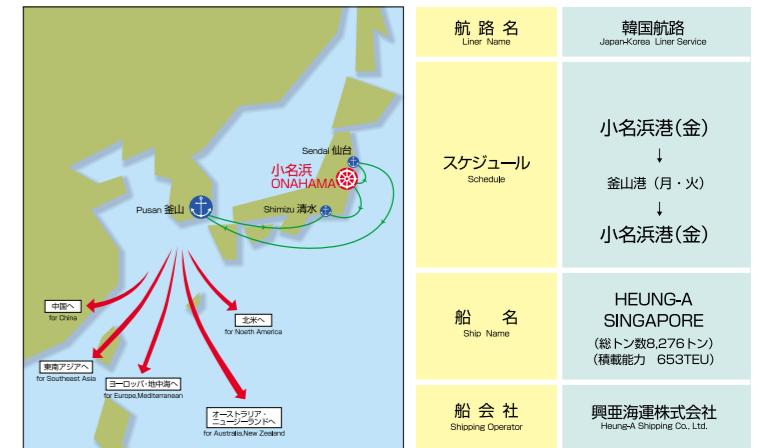
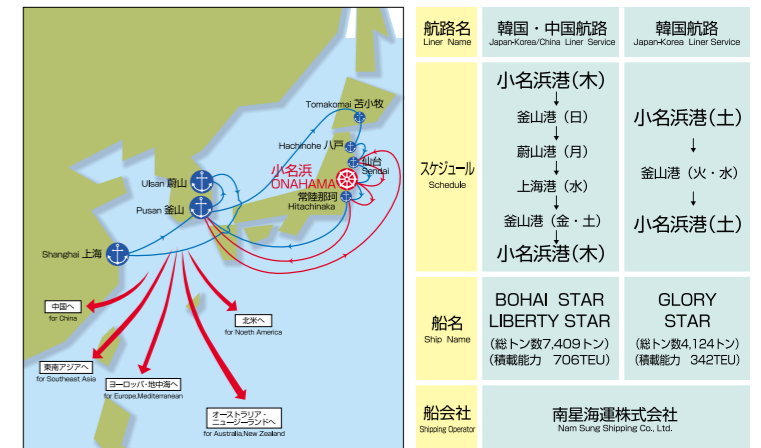
土地利用計画

ふ頭用地 24ha
港湾関連用地 19ha
緑地 7ha
(交通機能用地2ha)

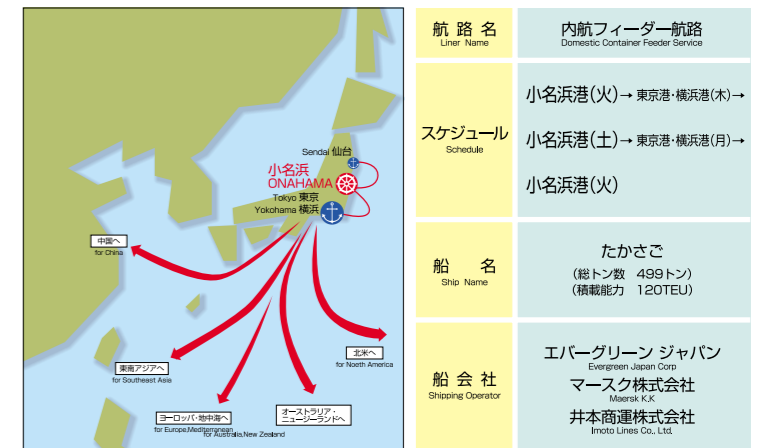
施設整備計画

航路 東港航路 水深15m 幅員800m
岸壁 水深14m 岸壁1バース 延長280m
水深12m 岸壁2バース 延長480m
道路 臨港道路1号線 2車線

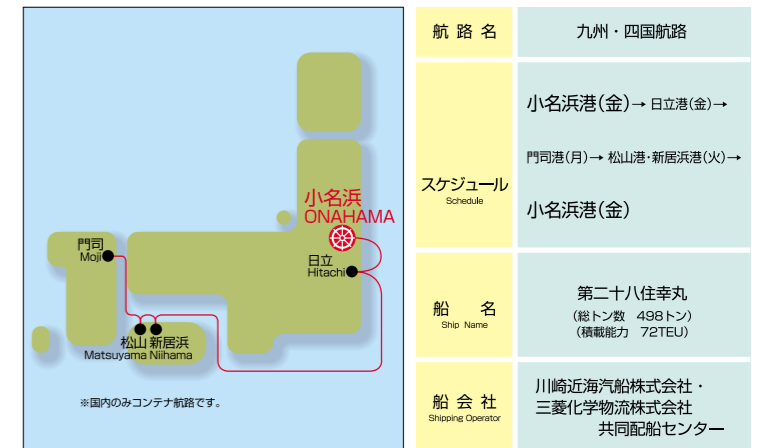
がいぼう 外貨コンテナ航路 Foreign Trade Container Liner Service



ないこう 内航フィーダー航路 Domestic Container Feeder Service



ないぼう 内貨コンテナ航路 Domestic Container Liner Service





原釜尾浜海岸



人工磯



離岸堤 (四阿)



緑地公園展望台



松川浦大橋



【重要港湾】相馬港

相馬港は、本県北東部の相馬市及び新地町に位置しています。
 港湾を含めた地域総合開発の必要性から、昭和49年に重要港湾の指定を受けて以来、港湾施設の整備も順調に進められ、相双地方の産業の核として重要な役割を果たしています。
 今後、常磐自動車道の仙台延伸や東北中央自動車道など高速交通網の進展や港湾背後の相馬中核工業団地の企業立地により、本県北部及び相双地方を中心とする物流拠点として、周辺環境と調和しながら発展することが期待されています。



Port of Soma

- 湾港区域告示/昭和35年2月19日 (変更) /昭和56年12月4日
- 重要港湾指定/昭和49年4月23日
- 開港指定/昭和63年6月1日
- 現有施設/公共：12バース 専用：3バース
- 所在地/相馬市及び新地町

相馬港の各ふ頭

1号ふ頭・2号ふ頭



石炭灰などの非金属鉱物や線材などの金属製品、原木などの林産品を中心に扱うふ頭です。また、多目的クレーン1基と3棟の県営上屋^{うや}を有しており、ふ頭機能の充実・強化を図っています。

5号ふ頭



港湾直背後の相馬中核工業団地内に立地する相馬共同火力発電(株)新地発電所(石炭専焼100万KW×2種)1号機が平成6年7月、2号機が平成7年7月に運転開始をしております。

火力発電に使用する石炭はオーストラリアなどから輸入しており、総トン数60,000t級の石炭専用船が入港しています。

にぎわいのある魅力的な空流交間へ

小名浜港

いわき港まつり

毎年夏に1・2号ふ頭アクアマリンパークで「いわき小名浜ミュウ花火」と「おなはま海遊祭」が開催されます。

ミュウ花火大会では、いわき最大の夏の祭典としてたくさんの方が港を訪れ、また、海遊祭では船舶の一般公開などが行われ、大きな賑わいを見せています。



いわきサンマリーナ



海洋性レクリエーション基地としての役割を担っています。夏には、福島ビルフィッシュトーナメントも開催され、大勢の釣り人たちが腕を競い合います。



相馬港

いいべした港まつり

2号ふ頭で開催される夏の恒例イベント。海と港のPRコーナーや、手漕ぎボートタイムトライアルなど毎年たくさんの方で賑わいます。



親子で楽しむ相馬港見学会

港の働きや仕組みについて理解を深めてもらうことを目的に開催され、毎年多くの親子が参加しています。





Port of Nakanosaku

【地方港湾】中之作港

中之作港は、近海カツオ一本釣り、サンマ棒受網、旋網〈まさあみ〉(いわし漁)等を主とする沖合い漁業の基地として、地域産業の発展に大きく貢献しています。特にカツオについては東北有数の水揚げ高を誇る港として知られています。

また、本港は古くから廻船誘致活動を積極的に行っており、県内をはじめ宮城県、高知県など県外からの漁船の利用が盛んです。

水産業をはじめとする地域産業の活性化の一翼を担う港湾として、その役割を果たしています。



永崎地区海岸

- 港湾区域告示／昭和37年8月7日 (変更)／昭和46年10月8日
- 地方港湾指定／昭和37年7月4日
- 現有施設／公共：26バース
- 所在地／いわき市

Port of Ena

【地方港湾】江名港

江名港は、地形的に恵まれた船溜りを形成していたため、昔から小型漁船の基地として活用され、現在は沿岸・沖合い漁業の基地として、重要な役割を果たしています。

本港は今後とも沿岸・沖合い漁業の基地として、堅調な漁業活動が期待されており、地場産業を支援する港湾として、その役割を果たしています。



漁船の係留状況

- 港湾区域告示／昭和27年9月11日 (変更)／昭和58年8月9日
- 地方港湾指定／昭和27年8月1日
- 現有施設／公共：21バース
- 所在地／いわき市



Port of Hisanohama

【地方港湾(避難港)】久之浜港

久之浜港の沖合は、北海道航路にあたり、常時船舶の航行が激しく、また漁場として好条件に恵まれているため、遠方各方面より漁船が集中しています。

しかし、北は鳥崎沖から南は塩屋崎沖までの約60kmの海域は、海岸線地形の変化に乏しく、かつ投錨地がほとんどないため、昭和32年に避難港に指定され、昭和37年より整備が進められてきました。

昭和55年に着手した沖防波堤も平成元年に完成し、避難港として航行の安全に寄与しています。

また、近年は砂利の積み出しなども行われています。



砂利運搬船

- 港湾区域告示／昭和35年5月12日
- 地方港湾指定／昭和32年5月20日
- 現有施設／公共：1バース
- 所在地／いわき市



【地方港湾】翁島港

翁島港は、わが国淡水湖中第3位の広さを有し、世界有数の透明度を誇る猪苗代湖の北岸に位置しています。

この地域は磐梯朝日国立公園として、自然資質に恵まれ、また歴史文化を象徴する施設も多いことから、多くの観光客が訪れています。

かつて、猪苗代湖においては江戸時代から湖面を利用した湖上交通ルートがあり、塩、魚、廻米等の輸送が盛んに行われていま

したが、大正時代になると湖上交通は次第に衰退し、戦後は観光港として利用されるようになりました。

昭和38～40年にかけて、長浜地区に棧橋と物揚場が整備され、遊覧船の発着地として賑わいを見せています。

また昭和63～平成4年にかけて、蟹沢地区にプレジャーボート用のマリナーが整備されました。平成15年にはクラブハウスも完成し、マリンスポーツの拠点として利用されています。



クラブハウス

- 港湾区域告示／昭和38年11月26日
- 地方港湾指定／昭和38年10月25日
- 現有施設／公共：6バース
- 所在地／猪苗代町

Port of Utsunomiya



【地方港湾】湖南港

湖南港は、猪苗代湖南岸に位置し、翁島港同様に江戸時代より塩、魚、廻米などの運用の用に供されてきましたが、その後の陸上交通の発達に伴い、戦後は観光港としての役割を果たしています。

昭和39～40年度にかけて棧橋、物揚場が整備され、昭和63

～平成元年度には、観光船の大型化による水深不足に対処するため、既設棧橋の先端に延長40mの棧橋が整備されました。さらに、平成2～4年度には、プレジャーボート用の浮桟橋102mが既設棧橋の両側に整備されました。



プレジャーボート用浮桟橋

- 港湾区域告示／昭和38年11月26日
- 地方港湾指定／昭和38年10月25日
- 現有施設／公共：11バース
- 所在地／郡山市

Port of Konan

巻末資料

小名浜港

に寄港したことのある船を紹介します。



客船/飛鳥/総トン数28,856GT



※コンテナ船/HEUNG-A SINGAPORE (ヒュンガシンガポール)/総トン数8,276GT



※RO-RO船(ローロー船)/第八光洋丸/総トン数3,270GT



管理監督船(福島県)/てるしま/総トン数18GT

※RO-RO船(ローロー船)とは、船側又は船尾にランプウェイと呼ばれる開口部がありそれを岸陸に架け陸上に連結することによりランプウェイを通して荷役をする方式をいう。

相馬港

に寄港したことのある船を紹介します。



客船/にっぽん丸/総トン数21,903GT



鉾石(石炭)専用船/新地丸/総トン数58,098GT



鉾石(コレマナイト)専用船/HEIAN(ハイアン)/総トン数16,896GT



鉾石(石炭灰)専用船/北上丸/総トン数4,064GT

●船舶は以下のように分類することができます。

呼称上の分類



資料：港運実務の解説(田村郁夫 著)

●コンテナとは

貨物のユニット化を目的とする輸送用のアルミや鉄製の四角い容器のことで、国際共通規格によって主要寸法、最大総重量、表示方法などが規定されています。

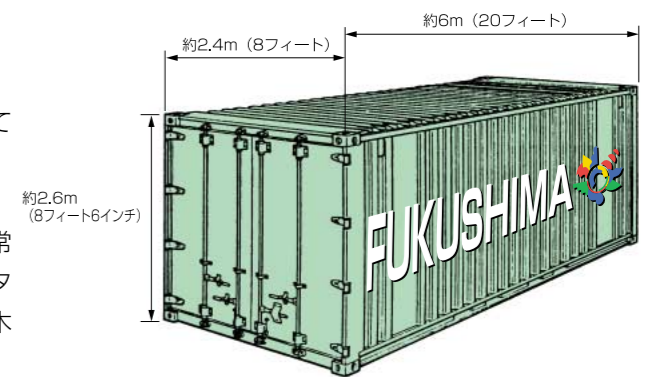
コンテナの大きさは、20フィート(約6m)、40フィート(約12m)の2種類。

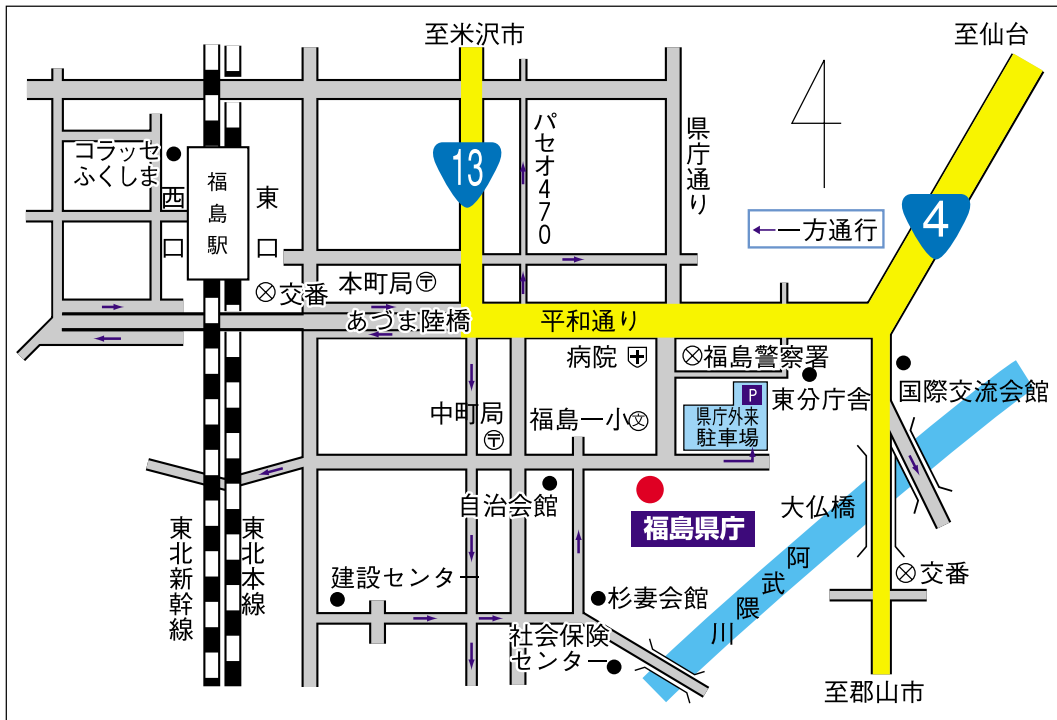
コンテナの個数の単位は、20フィートのコンテナ個数に換算して表します。

単位：TEU(Twenty-foot Equivalent Unit)

コンテナは、使用目的によって、ドライコンテナ(一般貨物用で通常最も多く使われる)、リーファーコンテナ(冷凍、冷蔵コンテナ)、タンクコンテナ(液体)、フラットラックコンテナ(大きな機械や、原木など)、バルクコンテナ(バラ積み貨物)などがある。

(一般的なドライコンテナの例)





**福島県土木部河川港湾領域
港湾漁港グループ**

〒960-8670 福島市杉妻町2-16

TEL : 024-521-7496

<http://www.pref.fukushima.jp>

E-mail : kouwangyokou@pref.fukushima.jp